

三種 浜口小児童販売、30日も サツマイモおいしいよ



浜口小児童が行ったサツマイモ販売会

三種町浜田の浜口小学校(近藤誠輝校長)の児童が27日、自分たちで栽培したサツマイモを同町鵜川の直売所「ドラゴンフレッシュセンター」で販売した。

地域住民らが列を作り、用意した約80袋が15分ほどで売り切れた。30日は午前10時から同町浜田の直売所「八竜産直センターメロディアン」で

販売する。

同校では毎年、全校児童が学校の農園でサツマイモを育てている。今年は5月に紅はるかの苗を植え、今月中旬に収穫した。

来年度に統合を控え、浜口小としての販売は本年度が最後。この日は1、3、6年生27人が店頭に立ち、1袋1kg入りを200円で販売した。

店内放送で「とてもおいしいのでぜひ買って下さい」と呼びかけ、のぼり旗や収穫時の写真などを持ってPR。元気な声の呼び込みを聞き、訪れた人が次々と購入していった。サツマイモには感謝の気持ちやお薦めの料理を書いたメッセージも添えた。

6年の中嶋優翔さんは「育てるのは大変だったけれど、たくさんの人に買ってもらえてうれしかった。甘くておいしいので、天ぷらやさつまいも汁にして食べてほしい」と話した。

サツマイモ販売に合わせ、児童と町社会福祉協議会、町共同募金委員会が赤い羽根共同募金への協力を呼びかけた。30日も実施する。(藤岡真希)

(令和8年10月28日(水) 秋田魁新聞より一部抜粋)